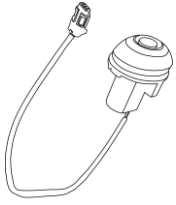


取扱説明書

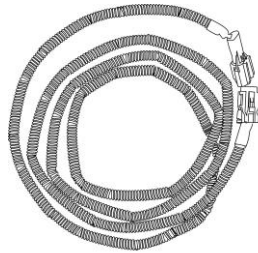
トラック・バックセンサー 防水

品番：# 1120950000 型式：BAT901

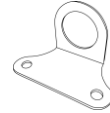
1, セット内容



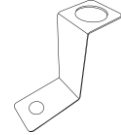
○バックセンサー×4



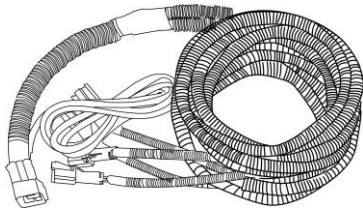
○バックセンサー用延長コード(5m)×4



○L型ステー×4



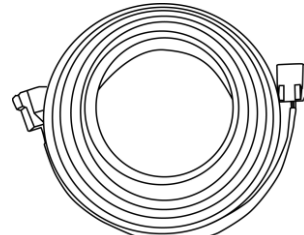
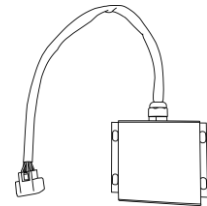
○Z型ステー×4



○電源コード兼センサーコード



○LEDディスプレイ

○LEDディスプレイ用
延長コード(20m)

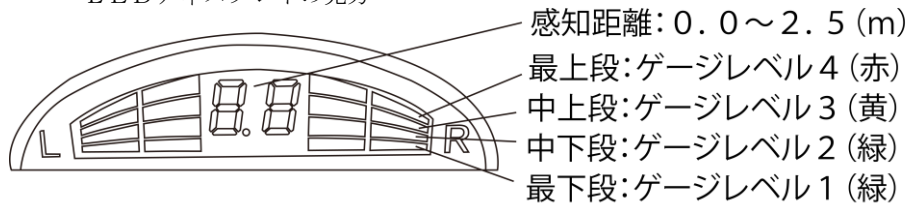
○コントローラー

2, 仕様

- ・定格電圧：DC12～DC24V
- ・電流値：10～150mA
- ・感知距離：0～2.5m
- ・反応角度：80°
- ・作動温度：-30～85℃
- ・センサー：超音波式
- ・保護等級：IP69/バックセンサー・コントローラー
IP65/コード類

●LEDディスプレイの表示パターン

LEDディスプレイの見方



| ゲージレベル(色) | 0 | 1(緑) | 2(緑) | 3(黄色) | 4(赤) | 4(赤) |
|-----------|----|---------|---------|---------|---------|-------|
| 感知距離(m) | — | 2.5～1.6 | 1.5～1.0 | 0.9～0.6 | 0.5～0.4 | 0.3以下 |
| ブザー音 | なし | なし | ピッピッピッ | ピピピピピ | ピピピピピ | ピ—— |

3, 使用上の注意事項

- 以下のように使用すると誤作動する場合があります。
 - ①AT車でシフトのRレンジへの切り替えをすばやく繰り返した場合。
 - ②センサーに泥や雪などが付着した場合。
 - ③砂利道、凸凹道、坂道、草むらなどで使用した場合。
 - ④高温(85℃以上)や低温(-30℃以下)で使用した場合。
 - ⑤豪雨や強風で砂埃などが巻き上がっている場合。
 - ⑥超音波、無線機の電波、電磁ノイズなどの外来ノイズ(EMC)を受けた場合。
- センサーに強い衝撃を与えないでください。破損や故障の原因となります。
- 洗車のあとは、センサーの破損や剥がれがないか確認し、正常に作動することを確認してからご使用ください。

4, 接続方法

※本商品は車輛への設置前に、必ず作動テストを実施して、正常に作動する事を確認してください。

※安全の為、本商品を取り付ける車輛のバッテリー配線を取り外して、作業をしてください。

※必要に応じて、コードを通す穴、センサーを固定する穴の位置決めをして、穴開け加工をしてください。

(1) バックセンサーの仮固定

①バックセンサー×4の取り付け位置を決めてください。

- ・バックセンサーの取り付け高さは地面から60cm以上。
- ・バックセンサーの両端は車体の端から16~22cmの間。
- ・バックセンサーを横に並べて取り付けする場合は、等間隔に配置する。(図-1参照)
- ・バックセンサーを上下に取り付けする場合は、トラック中央から左右対象になる様に配置する。(図-2参照)

以上の条件に合うように位置決めしてL型ステー、またはZ型ステーを養生テープなどで仮固定し、センサーを取り付けます。

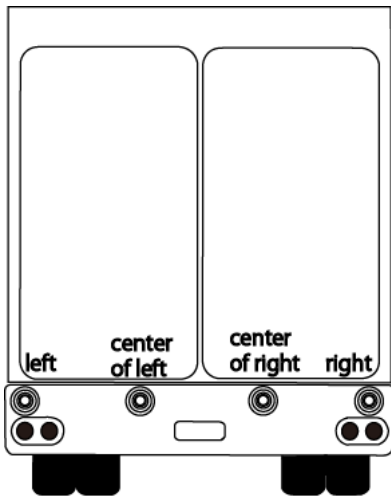


図-1 バックセンサーの取付例1

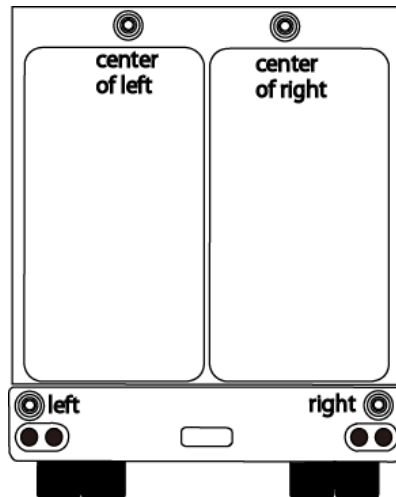


図-2 バックセンサーの取付例2

●バックセンサーのステー取り付け手順 (図はL型ステーですが、Z型ステーも同様です)

①センサー本体とベースを押し込みながら、時計回転方向に90°回してベースとゴムクッションを外してください。

※センサーカバーは外さないでください。(図-3参照)

②ステーにバックセンサーの配線から通し、①で取り外したゴムクッションとベースをバックセンサーの配線側から通してください。(図-4参照)

③センサー本体とベースを押し込みながら、時計回転方向に90°回してセンサーを固定してください。(図-5参照)

④完成です。(図-6参照)

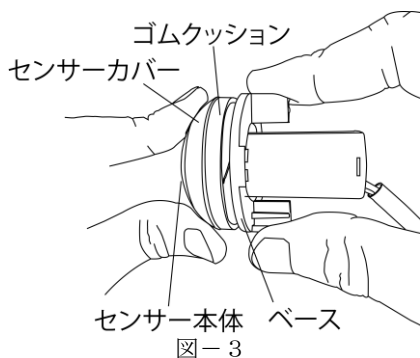


図-3

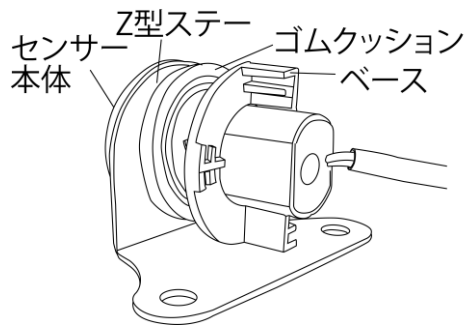


図-4

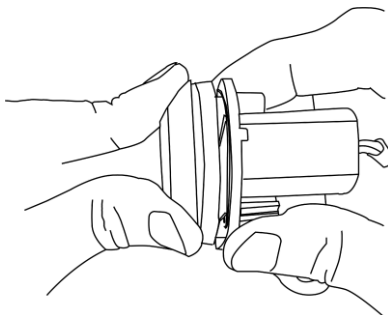


図-5

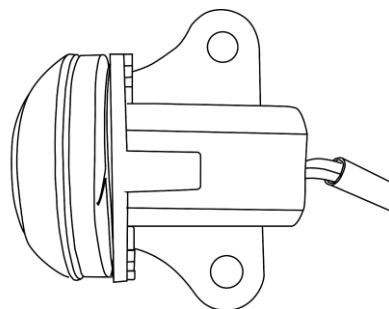


図-6

②バックセンサー×4の2pinコネクタとバックセンサー用延長コード(5m)×4の2pinカプラを各々接続してください。

③バックセンサー用延長コード(5m)×4を走行、積荷、荷降し等の邪魔にならない様に配線してください。

④バックセンサー用延長コード(5m)の2pinコネクタ×4と電源コード兼センサーコードの2pinカプラ×4を、バックセンサーと電源コード兼センサーコードのシール (left など) の位置関係に注意して接続してください。(図-1、図-2参照)

(2) LEDディスプレイの取り付け

- ①LEDディスプレイを底面の両面テープを使って、ダッシュボードなどに固定してください。
- ②LEDディスプレイの3pinコネクタとLEDディスプレイ用延長コード(20m)の3pinカプラを接続ください。
- ③LEDディスプレイ用延長コード(20m)を運転の支障にならないように配線してください。
- ④LEDディスプレイ用延長コード(20m)の3pinカプラを『(1)バックセンサーの仮固定』で配線した電源コード兼センサーコードの3pinコネクタに接続してください。

(3) 各コードの接続

- ①コントローラーの9pinカプラを『(2)LEDディスプレイの取り付け』で配線した電源コード兼センサーコードの9pinコネクタに接続してください。
- ②コントローラーの取り付け位置を決めて、付属のマジックテープ、またはビスやボルトなどで固定してください。
- ③電源コード兼センサーコードの配線(赤色)を車輛のバックランプ点灯時に電流が流れている陽極配線(+)に、配線(黒色)を陰極配線(-)、またはボデーアースに絶縁、防水処理を施して確実に接続してください。
- ④電源コード兼センサーコードを積荷、荷降し等の邪魔にならない様に配線してください。

(4) 動作確認・バックセンサーの本固定

- ①車輛のバッテリー配線を接続し、車のキースイッチをONにしてシフトレバーをバック(R)に入れてください。
- ②障害物を車体に近づけて、センサーの感度・警告範囲を確認してください。
- ③上記動作に問題ないことを確認の上、仮止めしたステーを外して、ビスやボルトなどで、車に確実に固定してください。

5, 注意事項

△危険 (この警告文に従わなかった場合、死亡、または重傷を負う事になるもの。)

- ①本商品の各部構成部品、**配線、コードは運転、走行の支障にならない位置に、確実に固定**してください。配線、コードがブレーキペダルに絡まり、事故の原因になります。
- ②**道路運送車輛法を遵守**して、本商品の取り付け、使用を行ってください。

△警告 (この警告文に従わなかった場合、死亡、または重傷を負う可能性のあるもの。)

- ①本商品は運転の補助装置として後方障害物の存在を知らせるもので、運転者の注意義務を軽減するものではありません。後退時は、後方、周囲の安全を十分確認してください。また、本商品を使用中に発生した事故に対し、本商品の動作の有無に関わらず、当社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
- ②**配線の絶縁不良、劣化等が無いかを定期的に確認**してください。また、**配線の結末、絶縁は確実**に行ってください。ショート、火事の原因になります。
- ③分解、修理、改造は行わないでください。発火したり、異常作動を起こす恐れがあります。

△注意 (この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、また、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。)

- ①必ず、**車輛のエンジンを停止させてから、取り付け**作業を行ってください。
- ②後退スピードは6km/h以下で走行してください。障害物を検知する前に衝突する危険性があります。
- ③バックセンサーを車の前側(フロント)に取り付けしないでください。誤動作の原因となります。
- ④LEDディスプレイは防水仕様ではありません。必ず、水のかからない場所に設置してください。故障の原因となります。
- ⑤バックセンサーとコントローラーの保護等級は『IP69 (●防塵：塵埃に対する完全な保護。●防浸：高温、スチームジェット洗浄の環境下でも有害な影響を受けない)』、コード類は『IP65 (●防塵：塵埃に対する完全な保護。●防浸：あらゆる方向からの噴流水による有害な影響を受けない)』です。それ以上の環境では使用しないでください。
- ⑥本商品の感知・警告距離は、バックセンサーと障害物の距離です。取り付け後、必ず感知・警告範囲を確認してからご使用ください。
- ⑦本商品を1台の車に2セット以上の取り付け、他社のバックセンサーと併用するなどはしないでください。誤動作の原因となります。
- ⑧本商品の動作確認を長時間行うとバッテリーを消耗してしまいます。ご注意ください。
- ⑨本商品に破損箇所が見受けられる場合、使用しないでください。
- ⑩感知・警告距離の確認は、車を動かさず、障害物を車に近づけてください。事故の原因になります。
- ⑪本商品は自動車用の後方障害物感知・警告装置です。それ以外の用途には使用しないでください。
- ⑫定期的にバックセンサーのレンズカバーを柔らかい布等で拭いて、汚れを取り除いてください。センサーの感度が低下します。
- ⑬清掃の際は、ガソリン、ベンジン等の薬品を使用せず、中性洗剤を使用してください。
- ⑭万一の故障による、本商品の取り外し費用、及び取り付け費用は、お客様のご負担になります。予め、ご了承ください。
- ⑮使用環境(天候など)によっては、バックセンサーが誤作動する恐れがあります。

